

**令和４年度第１回和光市文化財保護委員会（書面開催）
会議要録**

議題１ 令和３年度事業報告について

委員名	意見の概要
１ 田中委員長	意見なし。
２ 矢崎委員	意見なし。
３ 並木委員	意見なし。
４ 森委員	意見なし。
５ 鈴木副委員長	意見なし。
６ 大平委員	意見なし。
７ 岩田委員	意見あり。 ５.和光市デジタルミュージアム管理運営で令和３年４月１日から９月３０日の統計がとれなかった理由は何か。ソフトの不具合なのか。半年間気が付かなかったのか。
８ 保科委員	意見なし。
９ 内田委員	意見なし。
１０ 稲葉委員	意見なし。
【事務局からの回答】 岩田委員：和光市デジタルミュージアムの統計がとれなかった理由は、令和２年度に行ったリニューアルによって、トラッキングコードが変更され、カウントの統計情報を取得するために利用している別のサービスとの連携が外れてしまったことが原因です。 長期間気が付かなかった理由としては、閲覧数が減少している原因を閲覧者数の減少によるものと理解していたこと、そしてリニューアルによって通信プロトコルが変更となりましたがそれ自体はカウントへの影響が及ばないものと理解していたためです。しかし、約半年を経過しても明らかにこれまでのカウントと比べて異常な数値であったことから改めて原因を調査し、実際には先にご説明したとおりリニューアルに伴いカウントの統計に設定していたトラッキングコードが変更となっていたことが明らかとなりました。今後、同様の事態が生じることがないようにいたします。	

議題 2 令和 4 年度事業計画について

委員名	意見の概要
1 田中委員長	意見あり。 白子熊野神社富士塚は白子地域民の思いが強いので富士塚の円滑な調査、期待に十分答えられるような報告書作りを望む。
2 矢崎委員	意見なし。
3 並木委員	意見なし。
4 森委員	意見なし。
5 鈴木副委員長	意見なし。
6 大平委員	意見なし。
7 岩田委員	意見あり。 7.午王山遺跡史跡整備について、8月22日に北側縁辺部のトレンチ調査を見学させていただきました。今回調査でわかった地盤調査結果から、適切ながけ地の保存方法を検討し実施していただきたい。遊歩道の再整備も検討していただきたい。 8.富士塚について 志木「田子山富士塚」を訪ねて保護団体ボランティアの方の説明を受けました。有意義な話が聞けました。ぜひ保護委員会でも話を聞きに行ければ良いと思います。
8 保科委員	意見なし。
9 内田委員	意見なし。
10 稲葉委員	意見あり。 浅久保神社内の富士塚ですが、現状、たくさんの中低木が育っています。(他の塚も同様)創設当初から植樹がされていたかわかりませんが、もし樹木が現状の様でないならもともとの姿に復元しては如何でしょう。添付いたしました京都仙洞御所の塚は当時の様相のまま保存されています。
【事務局からの回答】 岩田委員：今回の調査では遺跡北側から環濠と想定される溝跡が検出されました。午王山遺跡の発掘調査は令和5年度も予定しており、引き続き午王山遺跡調査指導委員会をはじめとした関係機関の指導助言等を受けながら対応してまいります。なお、午王山遺跡北側の斜面地については土砂災害特別区域に指定されているエリアが含まれることから、所管課と連携しながら安全対策とその後の史跡整備を進めてまいります。 稲葉委員：浅久保神社境内を含めた富士塚については、ご指摘のとおり現状において樹木が生えている状況です。構築当時の景観を明らかにすることは難しいところではありますが、ご意見のように他自治体の管理方法や事例等を参考にしていきたいと思います。	

議題3 和光市文化財保護条例に基づく市指定文化財の指定について

(1) 答申(案)の作成の進め方について

委員名	意見の概要
1 田中委員長	承認。意見なし。
2 矢崎委員	承認。意見あり。 越後山遺跡出土のヒスイ大珠及び種子圧痕土器は共に学術的、歴史的に価値の高い和光市の誇れる貴重な資料で答申作成は大変なご苦労と思いますがぜひお願いいたします。
3 並木委員	承認。意見なし。
4 森委員	承認。意見なし。
5 鈴木副委員長	承認。意見あり。 学識経験者の助言が必要と考えている。県レベルの視野で市の文化財の価値を保証してもらうべきか。
6 大平委員	承認。意見あり。 ヒスイ大珠は劣化が少なく、色や艶も見事な見栄えのする遺物だと感心しました。文化財としての価値が非常に高いと感じました。 種子の圧痕のある土器は全国的に珍しく、希少価値の高いものです。市として全国に誇れる文化財となることでしょう。
7 岩田委員	承認。意見なし。
8 保科委員	承認。意見なし。
9 内田委員	承認。意見なし。
10 稲葉委員	承認。意見なし。
【事務局からの回答】 鈴木副委員長：答申(案)作成に向けて必要な事項は適宜調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。 矢崎委員・大平委員：答申(案)の作成にあたっては、ご意見等を踏まえた上で作成するようにいたします。	

その他

委員名	意見の概要
1 田中委員長	意見なし。
2 矢崎委員	意見なし。
3 並木委員	意見なし。
4 森委員	意見あり。 議題 3 (1) 答申 (案) の作成の進め方についての事務局の提案文章ですが、「作成することとしてよろしいか。」の表現はストレートでわかりやすいですが、公文書的な表現ではないように思われます。「作成することに承認いただけますか」等に変えた方が良いと思います。
5 鈴木副委員長	意見なし。
6 大平委員	意見なし。
7 岩田委員	意見なし。
8 保科委員	意見なし。 ※議題 3 について学識経験者のご紹介についてのご助言あり。
9 内田委員	意見なし。
10 稲葉委員	意見あり。 デジタルミュージアムも素敵だと思いますが、やはり現場を体験できた方が実感が強いと思いますので、＜場の保存＞に加えて＜時間の再現＞が出来たら素晴らしいと思います。祭りごと、暮らし、の再現など、現場で楽しく学べるコンテンツを出来るだけ盛り込んでいただくと CityPride/CivicPride を一層育めるのではないかと思います。
【事務局からの回答】 森委員：書面開催としてご承認を求める表現について、ご指摘をいただきありがとうございます。今後は委員各位に諮問する際の表現としてふさわしい表現を用いるよう心がけるようにいたします。 保科委員：学識経験者をご紹介いただきありがとうございます。答申（案）作成過程においてご助力をお願いする場合はご相談させていただきます。 稲葉委員：現場で＜時間の再現＞ができるよう、例えばデジタルミュージアムの内容をその場で確認できるよう看板への QR コードによる案内表示を行うなど検討いたします。	